

NEWSLETTER No.95

ISSN 1340-5578

TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ
The Society for Research in Asiatic Music

September 15, 2015

一般社団法人
東洋音楽学会

会報

第95号

発行 一般社団法人東洋音楽学会

事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152

E-mail: LEN03210@nifty.com ホームページ: http://tog.a.la9.jp

目次

第4回定時社員総会のお知らせ…………… 1	ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ…………… 4
総会への出席と「書面議決書」 または「委任状」提出のお願い…………… 1	IMS2017 東京大会のお知らせ…………… 5
第66回大会のご案内…………… 2	東日本支部からのお知らせ…………… 5
日本音楽の教育と研究をつなぐ会シンポジウムのご案内…………… 3	国立音楽大学創立90周年記念事業 コンサート&シンポジウムのお知らせ…………… 5
第33回田邊尚雄賞アンケートのお願い…………… 3	会員異動…………… 5
会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ…………… 3	図書・資料等の受贈…………… 6
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ…………… 4	新刊書籍…………… 6
『東洋音楽研究』のインターネット公開について…………… 4	新発売視聴覚資料…………… 7
	編集後記…………… 7

第4回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人東洋音楽学会 正会員各位

一般社団法人東洋音楽学会 会長 塚原康子

第4回定時社員総会招集状

一般社団法人東洋音楽学会定款第16条及び第18条の定めに基づき、第4回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

記

日時 2015年10月31日(土) 16時40分～17時30分

場所 東京藝術大学音楽学部第6ホール

審議事項

第1号議案 2014年度事業報告の件

第2号議案 2014年度収支決算の件

第3号議案 2015年8月31日貸借対照表および正味財産増

減計算書の件

第4号議案 2015年8月31日現在会員異動状況の件

第5号議案 定款施行細則変更の件

第6号議案 その他

報告事項

- ・2015年度事業計画の件
- ・2015年度収支予算の件
- ・その他

・上記以外に議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

・総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いしています。詳しくは、別項「総会への出席と書面議決書または委任状提出のお願い」をご熟読ください。

総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い

正会員(社員)のみなさん、総会の成立には正会員(社員)の過半数の出席(議決権の行使)が必要です。

総会への出席(議決権の行使)は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会にはぜひご出席ください。やむを得ず総会を欠席する場合には、下記のいずれかによって議決権を行使することができます。

①「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、10月上旬に学会のホームページに掲載されます。担当理事から、10月上旬に書面議決書を電子メールにて配信しますので、書面議決書によって議決書を行わせる場合には、個々の議案への賛否を記入して議案書に記したメールアドレス宛に返信してください。配信先は、学会に届けてある(会員名簿に掲載の)アドレスです。変更した方は至急学会事務局まで新しいメールアドレスをお知らせください。

インターネットを使わない正会員には、10月中旬までに郵送で議案書をお届けしますので、それに同封する「書面議決書」に賛否を記入して返送してください。

電子メールを使用するか、郵送を希望するかは、大会プログラムと一緒に届けられる「大会参加申込みハガキ」に希望を記入する欄がありますので、それにてお知らせください。

②「委任状」の提出

他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができます。委任する方は、「大会参加申込みハガキ」の委任状の欄を選択の上、代理人の氏名をご記入下さい。代理人は正会員のみが認められます。なお、空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものと扱います。

総会欠席の場合には「書面議決書」か「委任状」のいずれかを提出ください。総会成立のためにご協力くださるようお願いいたします。

第66回大会のご案内

東洋音楽学会第66回大会を、東京藝術大学において、同封のプログラムの通り開催いたします。多くの会員のご参加をお待ちしています。

第1日(10月31日)の午後は、「大学における世界音楽の実践」と題する公開講演会と、それに関連した演奏会を行います。この企画は、今年三十三回忌を迎えた故小泉文夫氏を記念する意味合いを込めたもので、まず植村幸生・皆川厚一・寺内直子の三方に、大学での世界音楽の実践の始まりとその意義、ガムラン音楽の音楽実践、海外における日本音楽の実践について講演していただきます。つづいて、ホールに場所を移して、東京藝術大学大学院に留学し音楽学の学位を取得

した方々による民族楽器の演奏をお聴きいただけます。

第2日(11月1日)は、三つの会場において研究発表、パネルディスカッション、セッション等を行います。最新の研究成果にもとづく盛り沢山の内容にご期待ください。

なお、大会期間をはさむ10月20日(火)～11月9日(月)には、東京藝大附属図書館2階目録室にて、「東京音楽学校の新発見SPレコード展」も行われています(日曜休館のため、11月1日はご利用いただけません)。どうぞこちらもご覧ください。

◎出欠の回答

同封の返信ハガキの各欄にもれなくご記入の上、10月9日(金)必着でご返送ください。やむを得ず社員総会に出席できない方は、返信ハガキの下欄の総会議案書に対する意思表示の方法(メールまたはハガキ)を選択記入してください。

◎大会参加費、懇親会費、弁当代の納入

必ず同封の払込用紙にて、10月23日(金)までにご入金ください。この日までに納入された方には、大会参加費の事前申込(早割)が適用されます。これ以後に納入した場合は、当日申込の金額となります。振込の金額は次の通りです。

大会参加費

正会員事前申込	2,500円
当日申込	3,000円(10月24日以降の振込、当日受付での支払)
正会員のうち大学院生(修士課程・博士課程・研究生)	
事前申込	1,000円
当日申込	1,500円
学生会員事前申込	1,000円
当日申込	1,500円
非会員(第2日のみ) 資料代	1,000円
懇親会費 正会員	4,000円
学生会員・正会員のうち大学院生	2,000円
弁当代(第2日)	800円(お茶付き)

*同封の払込用紙は大会専用です。学会費の納入にはお使いたないようお願いします。

*期日を過ぎて入金された方は、必ず受領証をお持ちになり、受付にてご提示ください。

*大会第2日のお弁当(お茶付き)は、期日までに返信ハガキにてご注文の上、払込用紙にて代金をお支払いいただいた方のみ、ご用意します。予約のない方への販売は行いませんので、予めご了承ください。なお、会場近く(徒歩10

分程度)のコンビニやファミリーレストランもご利用になれます。

*プログラムの再配布はいたしません。当日は同封のプログラムを忘れずにご持参ください。もし当日必要な場合は、500円で頒布いたします。

日本音楽の教育と研究をつなぐ会シンポジウム(平成27年度文化庁伝統音楽普及促進支援事業委託)のご案内

学校教育における日本音楽の未来を考える —演奏家・学校・教育行政と研究者とをつないで—

「日本音楽の研究と教育をつなぐ会(略称 つなぐ会)」は、文化庁の委託を受けて、以下のシンポジウムを、東洋音楽学会大会初日の午前中に、東京藝術大学で開催いたします。

東洋音楽学会では、昨年度の大会時にも日本音楽の将来をテーマにしたパネルディスカッションが行われるなど、伝統音楽の将来についての関心が高まっています。また今回の大会では、大学における世界音楽の実践がテーマになるなど、教育と研究をつなぐことの大切さも認識されつつあります。

こうした現状に鑑みて、今回のシンポジウムにも多くの会員の皆様にご参加いただきたく、ご案内させていただきます。

つなぐ会では、日本音楽の将来のための教育の役割を重視し、研究者がコーディネーターとなって、演奏家、学校、教育行政のネットワークの構築をめざしています。3つのチームに分かれ(教員の養成・採用・研修、専門家の活用、幼小教育の連携)、研究と議論を重ねてきました。今回のシンポジウムでは、教育行政の立場から、臼井学氏に基調講演をお願いし、つなぐ会からは、1年間にわたる取り組みの成果を発表して、今後の見通しについてディスカッションをします。

東洋音楽学会の会員の皆様のご参加をお待ちします。

日時:平成27年10月31日(土)10:00~12:00

会場:東京藝術大学音楽学部5-109室

基調講演:

臼井学(国立教育政策研究所教育課程センター研究開発部)

パネリスト:

寺田己保子(埼玉学園大学)

川口明子(岩手大学)

長谷川慎(静岡大学)

大熊信彦(群馬県総合教育センター)

司会:

加藤富美子(東京音楽大学)

参加費:無料

第33回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第33回田邊尚雄賞選考委員会では、同賞の選考にあたり、推薦情報を募集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、皆さまからの積極的なアンケート送付を切望いたします。随時受け付けますので、早めの情報提供をお願いいたします。自薦他薦は問いません。

選考対象:2015(平成27)年1月1日~12月31日の発行物

アンケート締切:2016(平成28)年2月上旬

記入事項:著者名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

送り先:東洋音楽学会 第33回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送)〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3

三春ビル307号

(FAX)03-3832-5152

(電子メール)LEN03210@nifty.com

選考委員:井上貴子、加納マリ、吉川周平、中原ゆかり、三浦裕子

会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ

1. 会費納入のお願い

2014年9月から新しい年度が始まっています。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払込くださいますよう、お願い申し上げます。振り込み用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員:8,000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者:6,000円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行[口座番号]00160-6-55723

[加入者名]一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行[支店名]〇一九(ゼロイチキュー)店(019)

[当座]0055723

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会

のホームページ (<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>) でご確認の上、お申し込みください。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第81号(2016年8月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、本誌最新号(80号)に掲載予定の「投稿規定」および学会ホームページ掲載の「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」は、機関誌編集委員会において改訂を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください。近年、分量の限度が守られていない投稿が多く見受けられます。著しい分量オーバーについては、投稿を受理しない方針ですので、ご注意ください。

送付先: 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
藤田研究室気付
(一社)東洋音楽学会機関誌編集委員会

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法: プリントアウトした原稿を郵送すること。
ただし、書留郵便にはしないこと。
直接持参、メール添付は受け付けません。

締め切り: 2015年12月17日(木) 必着

『東洋音楽研究』のインターネット公開について

1) 機関誌『東洋音楽研究』は、創刊号から73号までの論文、研究ノート、書評、視聴覚資料評等がすでにインターネット上で公開されています。74号以下についても、発行後3年を経過したものは順次公開していきます。このため、論文等著作の中に写真、図像、楽譜等を使用する場合、掲載許可

は、著者の責任においてあらかじめネット公開を念頭に取得していただくようお願いいたします。

2) 現在、74号のインターネット公開を目指して作業をしています。74号掲載の論文、研究ノート、書評、視聴覚資料評の著者で、写真等の許諾が得られずインターネット公開を差し控える必要がある場合は、9月末日までに、下記宛、メールと文書にてお申し出ください。お申し出なき場合、論文等はそのままインターネット上に公開されます。

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
藤田研究室気付
(一社)東洋音楽学会機関誌編集委員会
E-mail: tfujita@kcuu.ac.jp

ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

1. ICTM 東アジア音楽研究会シンポジウム開催のお知らせ

ICTM 東アジア音楽研究会 (ICTM Study Group on Musics of East Asia 通称 MEA) の第5回シンポジウムが来年夏、台湾で開催されます。

日時 2016年8月25日~27日
場所 中央研究院 (Academia Sinica)、及び国立台北芸術大学 (Taipei National University of the Arts)、台湾

当研究会発足10周年を記念するシンポジウムとなります。発表申込みの締め切りは2015年末の予定です。詳細は、ICTM ホームページ(以下参照)で開示される「発表募集要項」をご覧ください。

<http://www.ictmusic.org/group/musics-east-asia>

2. *Bulletin of the ICTM* (ICTM 会報) について

現在、ICTM の会報 (*Bulletin of the ICTM*) は、完全にオンライン化されています。以下 URL から最新版 (Vol. 128, April 2015) をダウンロードできます。

<http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm>

最新版には、新しい ICTM 日本国内委員長、及び東洋音楽学会会長として、塚原康子氏の紹介が掲載されています。また2014年度小泉文夫音楽賞受賞者として、陳 応時氏(上海音楽学院音楽学系教授)、および浜松市楽器博物館が紹介されています。

会報のバックナンバーは、1948年10月発行の第1号(当時は、*Bulletin of the IFMC*)から2015年1月発行の第127号まで、以下 URL より閲覧・ダウンロードできます。
<http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm/past-issues>

IMS2017 東京大会のお知らせ

国際音楽学会(IMS)東京大会が、2017年3月19日(日)～23日(木)、東京藝術大学上野校地を会場に開催されます。アジアでは初の大会開催となります。

発表の申し込みはオンラインのみで、同大会ウェブサイト <http://ims2017-tokyo.org/> より、2015年12月1日～2016年1月15日の期間に可能となります。発表は英・仏・独・伊・西のいずれかで行うものとし、発表申し込み用の要旨は英語のみを受け付けます。発表募集の要項は、<http://ims2017-tokyo.org/> にご覧下さい。

東日本支部からのお知らせ

◇定例研究会発表募集(12月例会)

東日本支部では、2015年12月5日の定例研究会での研究発表を募集しています。発表を希望される方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を明記の上、9月20日までに東日本支部事務局あて、お申し込みください。

なお、発表希望を提出後1週間経ても東日本支部事務局から連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが再度ご連絡ください。

2016年2月例会については、既に会員から多くのお申込が寄せられたため、今回は募集いたしません。何卒ご了承ください。

◇「会員の声」投稿募集

東日本支部発行『東日本支部だより』には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あて、お知らせください。投稿方法などの詳細は、『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

[東日本支部事務局]

〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号
東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail : tog.higashi@gmail.com

国立音楽大学創立90周年記念事業 コンサート&シンポジウム 「アジアの宮廷音楽と竹の文化」のお知らせ

国立音楽大学楽器学資料館は大学の創立90周年記念事業の一環として、コンサート&シンポジウム「アジアの宮廷音楽と竹の文化」開催を計画しています。(いずれも入場無料)

コンサート「笙と竹の楽器 日本、東南アジアの音楽」

日時：11月20日(金)18時開演

場所：国立音楽大学講堂小ホール

出演：宮田まゆみ、ドゥク・ダウ、マイ・タン・ソン(ヴェトナム)、アナン・ナーコン(タイ)、サム アン・サム(カンボジア)

シンポジウム「アジアの宮廷音楽と竹の文化」(英語のみ)

日時：11月21日(土)13時15分開演

場所：国立音楽大学6号館大講義室

詳細は、下記楽器学資料館サイトをご覧ください。

<http://www.gs.kunitachi.ac.jp/lc20151120-21/#more-1917>

会員異動

(2015年7月) その他変更は新会員名簿(機関誌第80号別冊)をご覧ください。

会員異動は個人情報保護のため削除しました。

◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail等でも結構です)

◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)

◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

図書・資料等の受贈

(2015年5月～7月、到着順)

『常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書 2014年度
「常磐津節演奏者名鑑 第4巻」(近代2:女流演奏者)』
竹内有一編著 常磐津節保存会
『演劇映像』第56号 早稲田大学演劇映像学会
『民俗芸能研究』第58号 民俗芸能学会
『能楽資料センター紀要』No.26
武蔵野大学能楽資料センター
『楽道』5, 6, 7月号 (公財) 正派邦楽会
『雅楽だより』第42号 雅楽協議会

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

『甘粕正彦と李香蘭 満映という舞台』
小林英夫、勉誠出版、2,800円
『岩波講座日本歴史 第13巻(近世4)』
大津透他編、神田由築他著、岩波書店、3,200円
『ピアニストが語る! 「音符ではなく、音楽を!」現代の世界的ピアニストたちとの対話第2巻』
焦元溥、森岡葉訳、アルファベータブックス、3,700円
『音楽業界 金のバイブル キャパ200完売への道』
野村達矢他著、シンコーミュージック・エンタテイメント、1,500円
『音楽と中産階級 演奏会の社会史(新装版)』
ウィリアム・ウェーバー、城戸朋子訳、法政大学出版局、3,500円
『女形の美学 たおやめぶりの戦略』
山本吉之助、アルファベータブックス、3,200円
『音楽産業 再成長のための組織戦略 不確実性と複雑性に対する音楽関連企業の組織マネジメント』
八木良太、東洋経済新報社、3,000円
『片山杜秀の本7 大東亜共栄圏とTPP ラジオ・カタヤマ【存亡編】』
片山杜秀、アルテスパブリッシング、1,600円
『絵画史料が語る祇園祭 戦国期祇園祭礼の様相』
河内将芳、淡交社、1,800円
『勸進・参詣・祝祭 シリーズ日本人と宗教近世から近代へ4』
島藪進・高埜利彦・林淳・若尾政希編、春秋社、3,200円
『続狂言史の基礎的研究』
関屋俊彦、関西大学出版部、8,000円
『芸能的思考』 橋本裕之、森話社、2,800円
『猿楽能の思想史的考察<オンデマンド版>』
家永三郎、法政大学出版局、3,500円

『上海租界の劇場文化 混淆・雑居する多言語空間(アジア遊学183)』
大橋毅彦・関根真保・藤田拓之編、勉誠出版、2,400円
『祝宴の時代 ベル・エポックと「アヴァンギャルド」の誕生』
ロジャー・シャタック、木下哲夫訳、白水社、4,400円
『森羅万象のささやき 民俗宗教研究の諸相』
鈴木正崇編、風響社、12,000円
『震災と芸能 地域再生の原動力』
橋本裕之、追手門学院大学出版会、1,600円
『説経節研究 歴史資料編』 説経節の会編、蒲生郷昭他著、
方丈堂出版/オクターブ(発売)、1,500円
『中世芸能講義 「勸進」「天皇」「連歌」「禪」(講談社学術文庫)』
松岡心平、講談社、880円
『デジタル・アーカイブとは何か 理論と実践』
岡本真・柳与志夫責任編集、勉誠出版、2,500円
『東京藝大物語』 茂木健一郎、講談社、1,700円
『東京ブギウギと鈴木大拙』 山田奨治、人文書院、2,300円
『「ドラマとしてのミュージカル」ミュージカルを支える原理と伝統的手法の研究 カーンからソンドハイムまで』
スコット・マクミリン、有泉学宙訳、彩流社、3,200円
『ニッポン大音頭時代 「東京音頭」から始まる流行音楽のかたち』
大石始、河出書房新社、2,200円
『日本の祭と神賑 京都・摂河泉の祭具から読み解く祈りのかたち』
森田玲、創元社、2,000円
『発表会文化論 アマチュアの表現活動を問う』
宮入恭平、青弓社、1,600円
『バルトークの民俗音楽の世界——子供のためのピアノ作品を題材に』
パップ晶子、音楽之友社、1,850円
『響きあう東西文化 マラルメの光芒、フェノロサの反影』
宗像衣子、思文閣出版、5,400円
『表象 09 特集:音と聴取のアルケオロジー』
表象文化論学会編、月曜社、1,800円
『フルトヴェングラーと私たち 東京フルトヴェングラー研究会創立20周年「心から心へ」記念論集』
野口剛夫編、アルファベータブックス、2,000円
『ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第28番 op.101 批判校訂版——分析・演奏・文献』
ハインリヒ・シェンカー、
西田紘子・堀朋平訳、音楽之友社、4,400円
『三橋美智也 戦後歌謡に見る昭和の世相』
荻野広、アルファベータブックス、1,600円
『ミシェル・ルグラン自伝 ビトゥイーン・イエスタデイ・アンド・トゥモロウ』
ミシェル・ルグラン、ステファン・ルルージュ、
高橋明子訳、濱田高志監、アルテスパブリッシング、2,800円

『三省堂「名歌名句辞典」新装版』

佐佐木幸綱・復本一郎編、三省堂、4,600円

『楊家将演義 読本』

岡崎由美・松浦智子編、勉誠出版、2,400円

『陽明文庫蔵 舞絵〔舞楽散楽図〕・法隆寺旧蔵 措鼓(日本音楽史料叢刊1)』

上野学園日本音楽史研究所編、思文閣出版、2,700円

『「よくわかる謡い方6」三輪・清経・頼政・千手・百万・小督・葵上・安達原(ひのきお稽古ライブラリー)』

藤波重満、絵書店、1,500円

『理論・方法・分析から「調性音楽を読む本」』

アンリ・ゴナール、藤田茂訳、音楽之友社、2,900円

『琉球文学の歴史叙述』 島村幸一、勉誠出版、9,800円

『琉球芸能総論(池宮正治著作選集)』

池宮正治、島村幸一編、笠間書院、12,000円

新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

●CD

『河内家菊水丸 河内音頭秘蔵コレクション(8)』

COCJ-39156、1,944円

『吟詠の友(31) 平成26年度日本コロムビア吟詠コンクール優秀者』

COCJ-39155、2,389円

『伝統と革新 起 /上妻宏光』 COCQ-85261、3,000円

『季(TOKI) 夏 /藤原道山』 COCQ-85264、2,222円

『鉢の木夢回想/新葛生音頭 橋本揚晴他』

COCA-17040、1,200円

『ふる里の民謡 第55集』 COCJ-39103、3,000円

『「箏・三弦 古典/現代名曲集(26)」正派邦楽会』

VZCG-799、3,000円

『中島勝祐創作賞(第四回)「文京坂名所踊図~坂悠々」東音 赤星喜康/中島勝祐』

VZCG-800、3,000円

●カセット

『「お郷土ぶし/小出盆唄」鈴木正夫・川崎千恵子/椿正昭』

VZSG-10635、1,200円

『「せきぞろ/いもがらぼくと」絹代/初代鈴木正夫・野崎せい子』

VZSG-10636、1,200円

『「船漕ぎ流し唄/チャグチャグ馬こ」江村貞一/ビクター少年民謡会』

VZSG-10637、1,200円

『「面浮立/道南口説節」鈴木正夫/松木知一』

VZSG-10634、1,200円

『「吉和櫓こぎ唄/五所川原甚句」初代浜田喜一/須藤圭子』

VZSG-10638、1,200円

編集後記

会報第95号をお届けいたします。ご寄稿いただいた執筆者の皆様にご心より感謝を申し上げます。今号では、第66回大会での総会に関する記事がありますので、会員の皆様は熟読いただき、総会の成立にご協力をお願いいたします。また、関連学会の催しとしてIMS(国際音楽学会)の日本での大会開催をご案内しております。活発な学术交流ができることを願っております。

永原恵三

会報編集委員会

理事：永原恵三、増野亜子

委員：井上登喜子

参事：大久保真利子、角優希、松本民菜、安原道子、渡邊佐恵子